

清流ニュース

九月の御総講日

一日十時	御修行日
六日十時	バースデー総講

十三日十時	併長寿特別総講
廿五日十時	高祖御命日

十七日十時	開導御命日
廿五日十時	門祖御命日

十二日十時	併竜の口御法難会
十六日十時	開導御速夜

廿四日十時	門祖御速夜
三十日十時	歎尊御命日

於羽村別院	高祖御速夜
会議	開導御命日

一日御総講後	役中会議
会議	開導御命日



奉修導師の当山住職と副住職

同帰亭要語録

上行所伝の一大秘法とは

題目の五字也此五字を我も唱へ人にもすゝむる處が則此經の御本意也。（出離大要抄）

ともあれ教化を

という事には関係がなかつた

五年で半人前、十年経つて

一人前、十五年経つと他人に

昔の職人は親方についてある一定期間只働きをしましたが、これが、年季奉公」といふもので、仕事を覚えるのが主で、この場合「どのくらい働いたから、いくらになる」

るうちにエラーがだんだん減つてゆき、遂にはトライアルだけになるのが楽しみで、それが職人の生き甲斐であつたということです。

最初は何事でも仲々難しいものであるがともかくトライアルしなければ話になりません。

職人がその仕事は骨が折れるからやらないで、外の事でしめんとするのが大事で、この「教化」だけ外してはいかない修行、どんな苦労をしたとて何にもなりません。

又、よく「信行増進」等を祈願言上いたしますが、たゞ個人的に御宝前に祈願しても、仲々そうはなりません。

「おのれ達せんと欲すれば先づ他人を達せしめよ。己れの信心増進の為には人を教化せよ。人を折伏すれば我信心上る。人を折伏せざれば我信

例年ですと、九月十二日に一万遍口唱会を実施するところですが、本年は、コロナの影響で、三密をさける為に十三日の高祖御命日総講に、各教区の教化誓願を言上して、お祖師さまの「龍の口御法難」をお偲びして参詣者にもお焼香していただぎました。

奉修導師のご法門は二面に掲載させていたゞきました。

本年は、各御会式ごとに、日序上人御廿三回忌法要を修めさせていたゞく為に開導会にも祭壇を設け、殊には、一般の参詣者にもお焼香していただぎました。

奉修導師のご法門は二面に掲載させ

スタンスで座席の間隔をあけ、信者席を準備。

コロナ禍の為に、開導会も参詣者を割り振り、本堂内はまさにソーシャルディスタンスで座席の間隔をあけ、信者席を

時間中は、青空がのぞくという不思議なお計らいをいたゞいた。

コロナ禍の為に、開導会も参詣者を割り振り、本堂内はまさにソーシャルディスタンスで座席の間隔をあけ、信者席を

長びいた梅雨の影響で、雨もようの当

日、開導会奉修直前から空が晴れ、奉修

時間中は、青空がのぞくという不思議な

お計らいをいたゞいた。

激励助行 隨喜参詣 歓喜御講奨励 之御願
一人ひとり御会式参詣将引御奉公推進

九月の朝参詣祈願週間
第一、第二、第三ブロック

九月の朝参詣祈願週間は、第一、二、三ブロックで、元八王子南、八王子北教区の教化誓願を言上致します。

九月廿二日

秋季彼岸会総回向
十九日～廿五日 彼岸会

又、羽村別院は、十二日の高祖御速夜総講に於て言上させていただきます。

高祖日蓮大士

龍の口御法難会

例年ですと、九月十二日に一万遍口唱会を実施するところですが、本年は、コロナの影響で、三密をさける為に十三日の高祖御命日総講に、各教区の教化誓願を言上して、お祖師さまの「龍の口御法難」をお偲びして参詣者にもお焼香していただぎました。

今年の長寿特別総講は、六月のバースデー総講に併修されることになり、例年のよう

に常に浴している信心前にいたたときをいうのであります。

今年の長寿特別総講は、六月のバースデー総講に併修されることになり、例年のよう

に常に浴している信心前にいたたときをいうのであります。

今年は、閏（うるう）年のため、秋のお彼岸が、九月十九日から廿五日までの一週間が彼岸の期間となり、したがつて、総回向も本寺は廿二日、別院は廿四日に奉修されることになります。

長寿特別総講

九月六日（日）

今年の長寿特別総講は、六月のバースデー総講に併修されることになり、例年のよう

に常に浴している信心前にいたたときをいうのであります。

今年は、閏（うるう）年のため、秋のお彼岸が、九月十九日から廿五日までの一週間が彼岸の期間となり、したがつて、総回向も本寺は廿二日、別院は廿四日に奉修されることになります。

バースデー総講

九月六日（日）

今年の長寿特別総講は、六月のバースデ